



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー
2017-18 年度テーマ



2017～18 年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

新潟 RC 3月第 1 例会 (2018.3.6) No.3222

(1) 「君が代」 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 徳永 昭輝会長挨拶

みなさん、こんにちは。また悲しいお知らせをしなければなりません、加賀田亮一会員が病氣療養中でしたが2月25日にお亡くなりになりました。加賀田さんにはローターアクト委員をお願いしていました。今でも、お元気なころの独特なゴルフスイングを思い出されますが、心からご冥福をお祈り申し上げます。黙とうをしたいと思います。

～～～加賀田亮一氏のご逝去を悼み黙祷～～～

さて、3月は「水と衛生月間」であり、また3月13日は世界ローターアクトの日です。3月12から18日までローターアクト週間ですが、今日はローターアクトについて、また水と衛生月間ということで、ミャンマーの医療・衛生状況についてお話をさせていただきます。

第47回RA地区大会が、平成29年3月25日に“挑戦”をテーマに三条市で開催されています。今年は3月3日に地区大会が開催されました。

ローターアクトクラブは、1968年に発足し、現在では159か国と地域に7833クラブ、18万人の会員が活動しています(2005.5.)。1960年「世界中の青少年が活動できる組織をつくろう」という機運の中から、1962年、インターアクトクラブ(14-18歳対象)が宣言され、1968年、ルーサーH. ホッジス会長が「ローターアクト構想」を提唱、理事会で「ローターアクトクラブの発足を認証」したことから、アメリカ合衆国のノースカロライナ州、ノース斜路とRCが提唱し、3月13日ノースシャロットローターアクトクラブが発足しました。

～ローターアクトクラブの目標～

1. 専門技術及び指導能力を開発すること
2. 他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること
3. 若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること
4. 提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供すること

5. ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること

標語は、「奉仕を通じての親睦」

(Fellowship Through Service)

日本では、1968年、6月1日埼玉県、国際商科大学ローターアクト(現川越ローターアクト)が発足しています。

新潟RCのローターアクトクラブは、1970年(昭和45年)9月1日に発足し、現在はホテルイタリア軒で第2、第4火曜日に例会を行っています。国際ロータリー第2560地区には、高田RAC、長岡東RAC、白根RAC、新潟南&新井RAC、三條RAC、直江津RAC、新発田RAC、新潟RACの8RACがそれぞれの目標に向かって活動しています。

さて、今月は「水と衛生月間」ですが、いろいろな取り組みが行われています。国際ロータリー第2790地区、千葉県勝浦RCでは「スリランカの子どもたちに清潔な飲料水を」目標に、スリランカ:コロンボRC、ドイツ:ニュールンベルグシゲナRC、シンガポールRCの4つのクラブの事業として、浄水設備をグローバル補助金60,188ドル(約722万円)で実施し、約1,200世帯、6,200人に清潔な飲料水を提供したという記事が2017.3月号ロータリーの友に掲載されていました。

いま、新潟RCではミャンマー医療支援に取り組んでいます。2月にミャンマーのヤンゴンを訪れた際に、下水道処理がされていないため、清潔な飲料水が提供できない状況を見ましたが、ミャンマーでは今エイズ、梅毒、インフルエンザや狂犬病といった感染症が大きな問題となっており、新潟大学ではヤンゴン国立衛生研究所の一室に「新潟大学ミャンマー感染症研究拠点」を設置、小児科・公衆衛生学教室が感染症の研究を行っています。私たちの活動は「ヤンゴン市民の母子保健向上」を目標にヤンゴンサンピア病院に超音波診断装置を寄贈する取り組みです。新潟北RCがこの活動と一緒に取り組みたい意向を表明しています。感染症の問題、母子健康の問題の他にミャンマーでは汚染水、上下水道の整備といった問題を抱えながら近代化への道を目指しています。私たちの国際奉仕活動もこのような現状を見据えながら少しずつ前進させていきたいと思っています。年度内に、新潟RCが取り組んでいるGG事業を実施するにあてに、ヤンゴンRCと「覚書」締結に向け努力いたします。ご協力をお願い致します。

- (3) 米山奨学生
ソド チャンドマニチメグさん 奨学金贈呈

(4) 3分間スピーチ

- ・(株)ProntoNet 代表取締役 小 木 将 綱君



- ・(株)新潟放送代表取締役会長 竹 石 松 次君



- ・東北電力(株)新潟支店長 武 田 眞 二君



(5) 100%出席バッチの贈呈(新田 幸壽委員長)

本多 晃君	2年	小飯田澄雄君	8年
宇尾野 隆君	10年	山田 隆一君	23年
塚田 正幸君	26年	白勢 仁士君	27年
得永 哲史君	34年	本間 彊君	39年

(6) 誕生日お祝い贈呈(10名)

(7) 結婚記念日お祝いの紹介(14名)

(8) 次年度地区役員委嘱状伝達

- ・地区諮問委員、危機管理委員会委員長 石本隆太郎君
- ・ロータリー財団委員会 奨学金・VTT 委員会委員
資金管理委員会委員長 得永 哲史君
- ・ロータリー財団委員会学友会委員会委員長 高橋秀樹君
- ・米山記念奨学委員会委員長 宇尾野 隆君
- ・米山記念奨学委員会奨学生選考委員 小木 将綱君

(9) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

樋熊 紀雄君

米山奨学会寄付発表(白勢 仁士委員長)

宇尾野 隆君 徳山 啓聖君

吉田 和弘君

青少年育成基金寄付発表(内山 清委員)

本間 彊君

(10) ニコニコボックス紹介(町田 智委員長)

・佐藤 紳一君 結婚記念日のお花ありがとうございます。
段ボールに入れ大事に育てます。毎年、枯れるまで育てま
す。

(11) 表彰

- ・石本隆太郎君米山功労者第4回マルチプル感謝状
- ・田村貫次郎君米山功労者第6回マルチプル感謝状
- ・竹石 松次君米山功労者第7回マルチプル感謝状贈呈
- ・鈴木 滋弥君米山功労者第8回マルチプル感謝状
- ・徳山 啓聖君米山功労者第23回メジャードナー感謝状

(12) 幹事報告(織戸 潔幹事)

・地区主催山の会が6月2日、佐渡の金剛山にて開催され
ます。メールにてご案内をお送り致しますので、参加希望
の方は直接、ガバナー事務局へお申込み下さい。

(13) 3月 6日例会の出席率 73.03 %

会員数 91名(出席免除会員 7名)

出席者 65 名(出席免除会員 5名を含む)

(2週間前メーク後 81.18 %)

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

3月6日 理事会報告 出席者13名

1 3月のプログラム

- 3月 6日 第一例会につきスピーチ無し
3月13日 会員スピーチ「実践から学んだリスクマネジメント」
ー重大事故を回避するには？ー
(株)TOSYS 新潟通信システム
事業部事業部長 東方 幸雄 君
3月20日 卓話「新潟元気プロジェクトの取り組みについて」
新潟元気プロジェクト
代表 長谷川 卓氏
3月27日 卓話「ミャンマー医学教育強化
JICA プロジェクトの現況」
新潟大学医歯学総合病院
総合周産期母子医療センター
助教 生野寿史氏

→ 上記3月プログラムは承認された

2 その他

※①～③ 継続審議案件

- ①ボーイスカウト日本ジャンボリー開催寄付
→新潟RCとしては賛同しない
②ミャンマー医療支援 旅費・予算化
別紙資料に基づき徳永会長樋熊理事より現状報告
北クラブも支援を一緒に行いたい意向あり
→3月中にGGプロジェクトをオンライン申請する
→ミャンマーに関わる旅費について承認された、次年度への予算化も必要
ヤンゴンRCとの覚書締結を進める
③次年度長期交換プログラム実施について（カウンセラー）
→カウンセラーについて現在調整中追って報告する（仙石理事）
④植樹事業計画について
別紙新潟RC記念植樹提案図、見積書を基に石川S・A・Aより説明
植樹場所は西大畑公園 4月中の植樹とする
→ 承認された
⑤台湾東部地震についての地区からの義援金支払について
→ 承認された

～*～*～*週報コラム*～*～*～

ギリシャのコス島から来たプラタナスの木

2016年11月のことですが、大変うれしいニュースが飛び込んで来ました。新潟医療福祉大学の学生による地域ボランティア活動が北越銀行賞を受賞したことです。当時新潟ロータリークラブ会員であった海津博之さんに早速お礼を申しあげました。

この賞には副賞がついており、好きなものを選びます。学生が私に助言を求めて来ましたので、一案としてプラタナスの木の植樹を勧めました。彼らがこれから社会に巣立っても、学生時代の活動の証をずっと記念に残せると思ったからです。

プラタナスの木と言ってもただの木ではありません。ギリシャのコス島から来たものです。歴史は2000年以上前に遡りますが、ヒポクラテスがプラタナスの木陰で医学を弟子たちに教えたとのことです。そこでこの木のことを、私たちは敬意を込めて「ヒポクラテスの木」と言っています。コス島のプラタナスの種から育った木が新潟大学医歯学総合病院にあることを知っていましたので、今回の受賞を祝って、その株を新潟医療福祉大学の構内に植樹したいと考えたわけです。なお大学病院にある木の由来については、樋熊紀雄さんが良くご存じなので教えていただきました。

「ヒポクラテスの木」の枝木を移植することについては石川治壺さんに相談しました。2017年6月、大学病院まで出向いて根回しをしていただきました。そして2018年3月5日に植樹祭を行いました。ロータリークラブから元会員の海津さんや石川さんにご参列いただきました。

学生が北越銀行賞を受賞したことが機縁で、多くのロータリアンにお世話になりました。

2018年3月6日

山本 正治

(新潟医療福祉大学学長)